

ブロック塀の 点検をしましょう!

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とした地震では、ブロック塀が倒壊し2名の尊い命が失われました。もし事故が発生した場合は所有者の責任が問われることになります。まずはご自宅のブロック塀が安全であるか、次のチェックポイントを使って自己点検しましょう!

コンクリートブロック塀の場合	組積造(れんが塀・石積塀)の場合
① 塀は高すぎないか ●高さ2.2m以下か。	① 塀は高すぎないか ●高さ1.2m以下か。
② 塀の厚さは十分か ●塀の高さ2m以下の場合、厚さ10cm以上か。 (2mを超え2.2m以下の場合には15cm以上)	② 塀の厚さは十分か ●塀の高さの1/10以上か。
③ 控え壁はあるか(高さが1.2m超えの場合) ●長さ3.4m以下ごとに塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。	③ 控え壁はあるか ●長さ4m以下ごとに塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
④ 基礎があるか ●コンクリートの基礎があるか。 ●基礎の根入れ深さは30cm以上か。	④ 基礎があるか ●基礎の根入れ深さは20cm以上か。
⑤ 塀は健全か ●塀の傾きはないか。2mm以上のひび割れはないか。	⑤ 塀は健全か ●塀の傾きはないか。2mm以上のひび割れはないか。
⑥ 塀に鉄筋が入っているか ●直径9mm以上が縦横80cm以下に配筋してあるか。	

※チェックした結果、ひとつでも不具合があれば危険です。建築士やブロック塀診断士に相談しましょう!

